

【瀬戸市のパートナーシップ制度及び関連の取組状況】

資料 5

●多様な性に関する研修及び講演会のアンケート実施結果

・令和5年7月25日・26日実施 職員研修

質問内容	受講前		受講後
身近にセクシャルマイノリティがいたら抵抗があるか。	<p>■ 抵抗がある ■ 少し抵抗がある ■ 抵抗はない</p>	⇒	<p>■ 抵抗がある ■ 少し抵抗がある ■ 抵抗はない</p>
以下のように思うか。 ・困っているLGBTQ+の人がいたら、味方になりたい。 ・人の考え方が自分と違って、拒否せず尊重できる。 ・差別や偏見がなく多様性が認められる社会にしたい。	<p>■ 強く思う ■ 少し思う ■ あまり思わない ■ 全く思わない</p>	⇒	<p>■ 強く思う ■ 少し思う ■ あまり思わない ■ 全く思わない</p>

・令和5年8月19日実施 市民向け講演会

質問内容	受講前		受講後
身近にセクシャルマイノリティがいたら抵抗があるか。	<p>■ 抵抗がある ■ 少し抵抗がある ■ 抵抗はない</p>	⇒	<p>■ 抵抗がある ■ 少し抵抗がある ■ 抵抗はない</p>
以下のように思うか。 ・困っているLGBTQ+の人がいたら、味方になりたい。 ・人の考え方が自分と違って、拒否せず尊重できる。 ・差別や偏見がなく多様性が認められる社会にしたい。	<p>■ 強く思う ■ 少し思う ■ あまり思わない ■ 全く思わない</p>	⇒	<p>■ 強く思う ■ 少し思う ■ あまり思わない ■ 全く思わない</p>

●宣誓組数(令和6年2月末時点)

1組 ※ホームページにて公開中

●宣誓者に対する任意のヒアリングを踏まえた変更事項

宣誓者の状況	将来は一方が所有するお墓と一緒に入りたいと思い、管理組合に確認したところ、墓地の所有者が活着しているうちは特に証明等は必要ない。しかし、所有者が先に亡くなった場合は、残されたパートナーと所有者との関係性を証明するものがない。その際二人の関係性が分かるパートナーシップ制度の証明書があれば一緒に入れるといわれたため、今回宣誓した。
--------	--



対応	本制度の要綱 第11条において、どちらか一方がなくなった際は証明書等を返還しなければならないとしている。しかし、上記のような特別な事情がある場合は、 <u>ただし書き以下の部分で解釈し、返還を要しないこととする。</u> (証明書等に穴をあける等の処理を行い、返還届を提出された方にお渡しする。)
----	---

【参考】(要綱抜粋)

(証明書等の返還)

第11条 宣誓者は、次の各号のいずれかに該当するときは、瀬戸市パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓書受理証明書等返還届(第6号様式)に証明書等を添付し、市長に提出しなければならない。ただし、証明書等の紛失その他やむを得ない理由があるときは、当該証明書等の返還を要しない。

- (1) 双方の意思によりパートナーシップを解消したとき。
- (2) 宣誓者のいずれかが死亡したとき。ただし、ファミリーシップ対象者がいる場合は、この限りでない。
- (3) 第3条第2号から第4号までに掲げる要件に該当しなくなったとき。
- (4) 前条の規定により無効とされたとき。